

中2 歴史 近世 穴うめ（20問） 版Cの答え

※ 漢字でもひらがなでも正解です。答えの下の（ ）内の言い方でも正解です。

（ ）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

- | | |
|-------------------------------------|--|
| (1) 喜望峰を回り1498年にインドに着いたのは（ ）だ | バスコ・ダ・ガマ
<small>(ヴァスコ・ダ・ガマ・バスコ=ダ=ガマ でも正解)</small> |
| (2) 市の税を免除し、座の特権をなくした政策を（ ）という | 楽市・楽座
<small>(楽市楽座・楽市令 でも正解)</small> |
| (3) 全国の田畑を調べ、収穫量を石高で表した政策を（ ）という | 太閤検地
<small>(検地 でも正解)</small> |
| (4) カトリック教会の中でつくられ、宣教師を送った団体が（ ）だ | イエズス会 |
| (5) ポルトガル人やスペイン人で行われた貿易を（ ）という | 南蛮貿易 |
| (6) 徳川家の一族の大名を（ ）という | 親藩 |
| (7) 朱印状を与えられた船が東南アジアで行った貿易を（ ）という | 朱印船貿易 |
| (8) 外国との交流を制限した江戸幕府の体制をのちに（ ）とよんだ | 鎖国 |
| (9) 将軍がかわるごとなどに朝鮮から送られた使節を（ ）という | 朝鮮通信使
<small>(通信使 でも正解)</small> |
| (10) 1603年に征夷大將軍となり江戸幕府を開いたのは（ ）だ | 徳川家康 |
| (11) 5戸ずつまとめて連帯で責任を負わせたしくみが（ ）だ | 五人組 |
| (12) 8代将軍が定めた裁判の基準となる法律を（ ）という | 公事方御定書 |
| (13) 株仲間をすすめ、商業の力を利用した老中は（ ）である | 田沼意次 |
| (14) 19世紀半ばに天保の改革を行った老中は（ ）である | 水野忠邦 |
| (15) 都市の人々が米を買い占めた商人の家をおそうのが（ ）だ | 打ちこわし
<small>(打毀し でも正解)</small> |
| (16) 働き手を作業場に集めて分業で製品をつくるのが（ ）だ | 工場制手工業
<small>(マニユファクチュア でも正解)</small> |
| (17) 『富嶽三十六景』をえがいた浮世絵師は（ ）である | 葛飾北斎 |
| (18) 17世紀末に京都や大阪の町人を中心に栄えた文化を（ ）という | 元禄文化 |
| (19) 杉田玄白らがオランダ語の解剖書をほん訳した本が（ ）だ | 解体新書 |
| (20) 町人や百姓の子どもが読み・書き・そろばんを学んだのが（ ）だ | 寺子屋 |